



奨学生交流会レポート —CTC 未来財団— 2025年8月2日(土)@神谷町トラストタワー

当財団の奨学生を招いた交流会を開催しました。今年度初回となる今回は zoom 参加者3名を含む31名の奨学生と卒業生の6名が参加しました。プログラムは4部構成。財団を設立した伊藤忠テクノソリューションズ株式会社(略称:CTC)から、人材戦略部のお二人を招いて「仕事」を切り口にした講演と財団事務局 中川による「生成AIデータ活用ワークショップ」が行われました。交流会は毎年2回実施しており、次回は11月下旬の予定です。

■第1部:財団紹介 財団業務の説明や事務局メンバーの自己紹介が行われました。



■第2部:奨学生自己紹介 当日参加した新奨学生13名の自己紹介と卒業生6名の近況報告が行われました。



■第3部講演
CTC 人材戦略部
井本 麻衣子様、菊野 束紗様



※6種類の職務遂行能力

- ・思考・分析判断能力
- ・ビジネスマナー
- ・コミュニケーション
- ・チームワーク
- ・チャレンジ精神
- ・責任感

■第4部ワークショップ
CTC 未来財団事務局
CTC シニアスペシャリスト
中川 裕路



第3部

「CTC 新卒採用担当者が語る“仕事”について

～IT 業界と自分の価値観を知る～」

講演は、「CTC が属する Sier 業界とは?」「仕事に関する価値観を考える」「今後仕事で必要となるスキルとは?」の3つのパートで進みました。「仕事に関する価値観を考える」パートでは、学生達は10グループに分かれワークを実施。「あなたは何のために仕事をするのか?」というテーマで3分間考え、グループのメンバー同士でそれぞれの考えを共有しました。さらに6種類の職務遂行能力*から自分の強みと弱みを整理し、最後に「今日から取り組むこと」を決め、グループ内で一人ひとりが宣言し講演が終了しました。奨学生からは「仕事のことや自分のことを考える充実した学びの時間だった」という感想が聞かれました。



第4部「生成AIデータ活用ワークショップ」

現在、当財団が開発に取り組んでいる中・高生向け授業コンテンツ「生成AIとデータ活用入門」を大学生向けに専門用語を用いた内容でワークショップを開催。学生達は自分のノートPCやスマートフォン上で Gemini や ChatGPT など自身が日常使っている生成AIを使いながら活用方法を学びました。実習では、「大学の授業の課題を効率的に進める方法」「自分の興味ある分野について深掘りする」というテーマで生成AIの活用に挑戦。学生からは「英語のスペルチェック確認のための活用」や「考古学の土器の年代を調べるための活用」、「自分の知らない前提知識を教えてもらう」という活用方法が発表されました。

